

平成 30 年度（2018）事業報告概要

国際交流事業		
1	講演会	・ IBBY 会長ドンケル氏講演会（5/26）（希望 P 学びの会の一環）
2	IBBY 支部としての活動	・ 第 36 回 IBBY 世界大会（8/30～9/1 アテネ） ・ 国際子どもの本の日（ポスター配布とイベント、3月） ・ 活動報告（隔年 7 月）・年会費の支払（4 月）・スポンサーとの連携 ・ 来日関係者との懇談（7/6 KBBY 会長、1/26 IBBY 会長・曹文軒氏）
3	国際賞への推薦	・ 角野栄子氏「国際アンデルセン賞」受賞イベント（11/1、12/6） ・ 国際アンデルセン賞への推薦（推薦 10 月、資料 1 月） ・ サイレントブックスへの推薦（2 月）
4	派遣・出展事業	・ 国際アンデルセン賞国際選考委員推薦（6 月）
5	協力事業ほか	
調査研究・情報提供事業		
1	図書展	・ 世界の子どもの本展＋巡回講演会（9 会場） ・ 世界のバリアフリー児童図書展（15 会場、隔年事業）
2	ブックリストの作成	・ 「世界のバリアフリー児童図書 2017」（6 月） ・ 「おすすめ！ 世界の子どもの本 2018」（12 月） ・ 「Japanese Children's Books 2019」（3 月） ・ 「おすすめ！ 日本の子どもの本 2019」（3 月）
3	講座、研究会	・ 新編集者講座（6 回） ・ 国際アンデルセン賞講座（5 回） ・ 子どもの本の翻訳フォーラム（1 回） ・ ノンフィクションの子どもの本を考える会（4 回）
4	会報の発行	・ 「Book & Bread」（年 4 回）
5	ウェブサイト	・ ホームページリニューアル ・ Facebook ・ Twitter ・ メールマガジン
6	JBBY 賞	・ 第 6 回贈賞式（3/23）
7	協力事業（他団体との連携・協力）	・ 子どもの読書推進会議 ・ BIB 世界絵本原画展（国内巡回展） ・ 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」 ・ 文部科学省「読書コミュニティ拠点形成支援事業」 ・ 群馬県太田市美術館・図書館 ・ 後援名義の提供 ほか
その他の事業		
1	ボローニャ国際絵本原画展	・ 巡回展事務局業務（国内 5 会場）
2	希望プロジェクト	・ 支援活動（野馬追文庫、子ども食堂 ほか） ・ 募金活動 ・ 学びの会（4 回）
3	フォーラム・子どもたちの未来のために	・ 学習会（4 回）
4	出展ほか	・ 上野の森親子ブックフェスタ（5/3）
5	物販	・ 講師の著作物、関連書籍等の販売など
★	移転	・ 事務局移転（10/18）

平成 30 年度（2018）事業報告書

（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

【国際交流事業】

1. 国際講演会

ア) IBBY 会長ワリー・デ・ドンケル氏講演会

IBBY 会長ワリー・デ・ドンケル氏（当時）の来日に合わせ講演会を実施した。JBBY 希望プロジェクト・学びの会の 1 回として行い、講演後には会員と親睦会を行った。「子どもゆめ基金」助成活動。

演題	IBBY のチルドレン・イン・クライシスとブックセラピー
日時	2018 年 5 月 26 日（土）
会場	日本出版クラブ会館（東京都）
講師	ワリー・デ・ドンケル氏（当時 IBBY 会長） 通訳：早川敦子
参加者	50 名 取材：4 件

2. IBBY 支部としての活動

ア) 第 36 回 IBBY 世界大会（隔年）

第 36 回 IBBY 世界大会がアテネ（ギリシャ）で開催され、さくまゆみこ会長、野上暁副会長ほか日本から 40 人が出席。大会では、角野栄子氏への国際アンデルセン賞授与式も行われた。

大会テーマ	東と西が会うところ：子どもの本をめぐって
会期	2018 年 8 月 30 日～9 月 1 日
会場	メガロンアテネ国際会議場（ギリシャ・アテネ）

■IBBY と世界大会

現在 IBBY には 78 の国と地域が加盟している。隔年で開催される IBBY Congress（IBBY 世界大会）は、国際アンデルセン賞や IBBY 朝日国際児童図書普及賞の授与式、IBBY オナーリストのプレゼンテーションのほか、子どもの本の専門家による基調講演、分科会とポスター発表、展示など、世界中の子どもの本関係者の交流の場。各支部が 1 票ずつ議決権を持つ総会では、事業報告や会計報告とともに役員の選挙も行われる。

イ) 国際子どもの本の日キャンペーン

「国際子どもの本の日」（4 月 2 日、アンデルセンの誕生日）を記念し日本でも事業を行った。

(1) 世界共通ポスターとメッセージの発信

IBBY 各国支部が順番に作成するポスターとメッセージを日本語版にし、JBBY 会員のほか、全国の公共図書館や関連施設に配布した。

2019 年制作担当国	リトアニア共和国
ポスターアート・メッセージ	ケストウティス・カスパラーヴィチュス氏
メッセージ翻訳	櫻井映子氏
日本語版ポスター	A2 サイズ、6,000 部

(2) 記念イベントの実施

子どもに本のよろこびを、大人にも子どもの本の大切さを伝えるため、恒例の「子どもの本の日フェスティバル」を開催した。今年は、JBBY の活動を周知することにも注力し、催事そのもののイメージアップを図った。参加者のべ 2,400 人。「子どもゆめ基金」助成活動。

催事名	2019 国際子どもの本の日 JBBY 子どもの本の日フェスティバル
日時	2019 年 3 月 23 日（土）24 日（日）
会場	ゲートシティ大崎ゲートシティホール、アトリウム（東京都）
後援	東京都教育委員会、品川区、品川区教育委員会、子どもの読書推進会議 出版文化産業振興財団、読書推進運動協議会、日本ペンクラブ
協力	ゲートシティ大崎管理組合、大崎エリアマネジメント、日産自動車株式会社
プログラム	展示：国際アンデルセン賞と JBBY 賞関連作品 約 100 冊
	展示：IBBY が選んだ世界の子どもの本（IBBY オナーリスト）約 200 冊
	展示：おすすめ！世界の子どもの本／おすすめ！日本の子どもの本 約 250 冊
	展示：布のえほん展「重い障害のある子にも届け！本の楽しみ」
	展示：UD 絵本コンクール 2018（静岡文化芸術大学主催）入賞作品
	展示：国際子どもの本の日ポスター50年展
	展示：みんなでつくる「子どもの本の木」（制作：垂石真子氏）
	あそびうたオンステージ（あそびうた作家のみなさん、長野ヒデ子氏、JBBY 賞受賞作家のみなさん）
	講演会：角野栄子氏「魔女とオバケと小さなおはなし」
	記念トーク：古内一絵氏＋母袋夏生氏「逆境の中のユーモア」
	作家トーク：いとうみく氏＋濱野京子氏＋吉野万理子氏「作品を通して伝えたいこと」
	講演会：さくまゆみこ氏「翻訳書ができるまで」
	翻訳家リレートーク：愛甲恵子、宇野和美、大作道子、神谷丹路、斎藤倫子、中野怜奈、野坂悦子、原田勝 各氏
	講演会：野口光世氏「布のえほんの 40 年」
子どもワークショップ：土居安子氏「おはなしであそぼう！」	
子どもワークショップ：田島征三氏「木の実のワークショップ」	

子どもワークショップ：きむらゆういち氏「作ってあそぼう！ トランポリンゲームと紙コプター」
科学あそび：科学読物研究会「アンモナイトのレプリカをつくろう！」「クルクルくんをつくろう！」（市川雅子氏、坂口美佳子氏、二階堂恵理氏）
親子で楽しむおはなし会（代田知子氏、岩間恵子氏、神保和子氏）
ブックトークを楽しもう！（代田知子氏、岩間恵子氏、神保和子氏）
デンマーク体操（市川ゆり子氏）
ミニワークショップ（松井紀美子氏、中島尚子氏）
子どもの本なんでも相談室（さくまゆみこ氏、広松由希子氏ほか）
トーク&交流会「JBBYってなに？ 子どもの本のここだけのはなし」（さくまゆみこ氏、野上暁氏ほか）
クイズ付き「子どもの本の日パスポート」
第6回 JBBY 賞贈賞式

(3) 子ども JBBY 賞

子どもの本の日フェスティバルに参加した子どもたちに、会場内で見つけたお気に入りの本を書いてもらい集計して、国際子どもの本の日（4月2日）に、子ども JBBY 賞を発表した。

参加者	139人
第1位	『魔女の宅急便』（角野栄子 作、福音館書店）
第2位	『ごちそうの木』（ジョン・キラカ 作、さくまゆみこ 訳、西村書店）
第3位	『えとえとがっせん』（石黒亜矢子 作、WAVE 出版）『きみちゃんとふしぎねこ』（藤原ヒロコ 作、ひさかたチャイルド）『このあとどうしちやおう』（ヨシタケシンスケ 作、ブロンズ新社）『わくせいキャベジ動物図鑑』（tupera tupera 作、アリス館）

■国際子どもの本の日

IBBY は 1966 年に、アンデルセンの誕生日である 4 月 2 日を「国際子どもの本の日」と定め、各国で本を普及するイベントを奨励した。翌 67 年からは、IBBY 支部が交代に記念ポスターとメッセージを作成し、世界中に発信している。

ウ) IBBY 年会費の納入

年会費 7,500 スイスフラン (=844,875 円) を納めた。IBBY の会費カテゴリーは、その支部の年間児童書出版点数を基準に決まる。

カテゴリー1 (6カ国)	中国、フランス、ドイツ、日本、イギリス、アメリカ合衆国
カテゴリー2 (10カ国)	オーストラリア、ベルギー、カナダ、イタリア、韓国、オランダ、スペイン、スウェーデン、スイス、アラブ首長国連邦
カテゴリー3 (2カ国)	デンマーク、ノルウェー
カテゴリー4 (10カ国)	オーストリア、ブラジル、チェコ、フィンランド、インド、アイルランド、イスラエル、メキシコ、ポーランド、ロシア
カテゴリー5 (8カ国)	アルゼンチン、アイスランド、イラン、マレーシア、ニュージーランド、スロベニア、タイ、トルコ

カテゴリー6 (11 カ国)	チリ、コロンビア、クロアチア、キプロス、エジプト、ギリシャ、ハンガリー、インドネシア、スロバキア、南アフリカ、ベネズエラ
カテゴリー7 (10 カ国)	アゼルバイジャン、エクアドル、エストニア、ヨルダン、ラトビア、リトアニア、パキスタン、ペルー、チュニジア、ウクライナ
カテゴリー8 (22 カ国)	アフガニスタン、アルバニア、アルメニア、ボリビア、カンボジア、コスタリカ、キューバ、エルサルバドル、ガーナ、ハイチ、レバノン、モルドバ、モンゴル、ネパール、パレスチナ、ルワンダ、スリランカ、タンザニア、ウガンダ、ウルグアイ、ザンビア、ジンバブエ

エ) IBBY の活動を支援する日本企業との連携

IBBY 朝日国際児童図書普及賞	朝日新聞社
IBBY 山田プログラム (IBBY-Yamada Fund)	山田養蜂場

■IBBY 朝日国際児童図書普及賞 (IBBY-Asahi Reading Promotion Award)

1986年に東京で、アジアで初めてのIBBY世界大会が開催された際、朝日新聞社がIBBYの活動に賛同して創設した賞。図書普及や識字活動で成果をあげた団体に贈られる。

■IBBY 山田プログラム (IBBY-Yamada Fund)

スマトラ島沖地震(2004年)に対し山田養蜂場から寄せられた支援金を元に2005年に発足した基金。その後も支援が継続され、すべての子どもが自由に本を読める世界をめざし、年間8~10回の草の根的なワークショップが行われる。

オ) 来日関係者との懇談会・懇親会

(1) IBBY 韓国支部 (KBBY)

ゲスト：イムジョンジン KBBY 会長 (当時)、申明浩氏

日時：2018年7月6日 場所：日本出版会館 (東京都) 参加者：12名

(2) IBBY 会長と曹文軒氏 (中国)

ゲスト：張明舟 IBBY 会長、曹文軒氏 (2016年国際アンデルセン賞作家)

日時：2019年1月21日 場所：JBBY 事務局 (東京都) 参加者：14名

3. 国際賞への推薦

ア) 角野栄子氏「国際アンデルセン賞」受賞記念事業

角野栄子氏の2018年国際アンデルセン賞作家賞受賞を記念し、祝賀会と講演会を行った。

(1) 受賞を祝う会

日時：2018年11月1日 (木) 場所：出版クラブホール (東京都)

参加者：191名 (上皇后陛下のご臨席あり)

(2) 記念講演会

日時：2018年12月6日 (木) 場所：浜離宮朝日ホール (東京都)

参加者：313名 共催：朝日新聞社

イ) 2020 年国際アンデルセン賞への推薦 (隔年事業)

国内選考会を実施し、2020 年国際アンデルセン賞に日本から推薦する作家と画家を選出した。推薦資料を作成し、1 月 31 日に IBBY に提出した。

▼国内選考会

作家賞選考会	2018 年 7 月 5 日 場所：日本出版会館 (東京都)	選考委員：さくまゆみこ、代田知子、土居安子、 中野怜奈、野上暁 各氏
画家賞選考会	2018 年 8 月 16 日 場所：日本出版会館 (東京都)	選考委員：澤田精一、茅野由紀、土居安子、広 松由希子、松岡希代子 各氏

▼選考結果

作家賞候補	富安陽子氏
画家賞候補	田島征三氏

■国際アンデルセン賞

1953 年に IBBY が創設した子どもの本の国際的な賞で「Little Nobel (小さなノーベル賞)」と称される。3 年の準備期間を経て 1956 年に第 1 回の授与式が行われた。IBBY に加盟する支部が推薦する候補者の中から、2 年に一度、子どもと子どもの本に最も貢献した作家と画家の全業績を対象に贈られる。選考は、世界 11 カ国から選任された国際選考委員 (委員長含) があたる。日本からは、赤羽末吉 (1980 画家賞)、安野光雅 (1984 画家賞)、まど・みちお (1994 作家賞)、上橋菜穂子 (2014 作家賞)、角野栄子氏 (2018 年作家賞) が受賞している。

ウ) 2019 年サイレントブックスへの推薦 (隔年事業)

2019 年 2 月 5 日開催の理事会で討議し、IBBY サイレントブックスに下記の本を推薦した。

▼日本から推薦した作品

『旅の絵本Ⅸ』 (スイス編)	安野光雅 作、福音館書店
『Michi』	Junaida 作、福音館書店

■サイレントブックス

IBBY イタリア支部が 2012 年に立ち上げたプロジェクト。船でたどり着く難民の子どもたちのために、イタリア領最南端にあたる地中海のランポドゥーサ島に子ども図書館を造り、言語の異なる子どもたちでも楽しめる文字のない絵本 (Silent Books) を置いた。2013 年から、隔年で IBBY 各支部から文字のない絵本を収集している。日本は 2017 年から参加した。

4. 派遣・出展事業

2020 年国際アンデルセン賞国際選考委員に、土居安子氏 (大阪国際児童文学振興財団総括専門員) を推薦した。

5. 協力事業ほか

【調査研究・情報提供事業】

1. 図書展

ア) 世界の子どもの本展と巡回講演会

2016年IBBYオナーリストに選ばれた57の国と地域、48言語173作品と、2016年国際アンデルセン賞受賞者（作家賞 曹文軒氏、画家賞 ロートラウト・ズザンネ・ベルナー氏）の作品を9会場で展示した。各会場では、作家等による講演会を実施した。「子どもゆめ基金」助成活動。

2018/5/17～31	香川県	坂出市立大橋記念図書館	5/20 宮川健郎氏講演会
6/26～7/8	長野県	塩尻市立図書館	7/7 依田和子氏講演会
7/25～30	群馬県	太田市美術館・図書館	
9/25～10/8	大阪府	和泉市立人権文化センター図書館	10/3 垂石眞子氏講演会
11/1～8	沖縄県	海星小学校	11/8 小林豊氏講演会
11/15～18	長崎県	諫早市立図書館	11/15 さくまゆみこ氏講演会
2019/2/1～28	兵庫県	揖保川図書館ほか	2/11 前沢明枝氏講演会
3/23～29	群馬県	群馬パース大学福祉専門学校	3/24 依田和子氏講演会
3/23～24	東京都	ゲートシティ大崎	子どもの本の日フェスティバル

▼展示された日本のIBBYオナーリスト

『あたらしい子がきて』（文学作品部門）	岩瀬成子 作、岩崎書店
『希望の牧場』（イラストレーション作品）	吉田尚令 絵、森絵都 文、岩崎書店
『ハーレムの闘う本屋』（翻訳作品）	ネルソン 著、原田勝 訳、あすなる書房

イ) 世界のバリアフリー児童図書展

IBBYが2017年に選定した50タイトルを借り受け、15会場で展示した。

2018/6/15～27	東京都	女子美術大学ガレリアニケ
7/7～10	静岡県	静岡文化芸術大学
7/16～29	静岡県	静岡県立大学
8/7～26	東京都	国立国会図書館国際子ども図書館
9/1～14	滋賀県	愛知川図書館
9/17～30	愛知県	名古屋市緑図書館
10/6～19	大分県	大分県立図書館
10/25～11/4	群馬県	太田市美術館・図書館
11/15～23	神奈川県	横浜ラポール
11/26～12/9	長野県	清泉女学院大学

12/11～28	東京都	墨田区立立花図書館
2019/1/15～24	大阪府	大阪手をつなぐ育成会
2/9～17	高知県	高知こどもの図書館
3/11～17	大阪府	枚方市立中央図書館
3/23～30	東京都	板橋区立蓮根図書館

▼展示された（IBBYに選定された）日本の作品

『こんこんくしゃんのうた』（布の絵本）	野口光世 デザイン、香山美子 作詞、ぐるーぷ・もこもこ制作
『あさになったのでまどをあけますよ』	荒井良二 作、偕成社
『恋ちゃんのはじめての看取り——おおばあちゃんの死と向きあう』	國森康弘 写真・文、農山漁村文化協会
『ちょっと不思議な絵本の時間 おとなが読みあい語りあう』	NPO 法人 Re～らぶ 編、かもがわ出版
『あんちゃん』	高部晴市 作、童心社

2. ブックリストの作成

ア) 「おすすめ! 世界の子どもの本 2018」

「おすすめ! 日本の子どもの本」の姉妹版として、日本で翻訳出版された海外の児童書リストを発行した。特集記事として、翻訳家の原田勝氏・母袋夏生氏のエッセイ、2017年に来日したタンザニアの絵本作家ジョン・キラカ氏のメッセージを掲載した。

選書・執筆委員	さくまゆみこ、代田知子、神保和子、土居安子、福本友美子 各氏
表紙	荒井真紀氏
編集協力	梓澤設夫氏
協力	株式会社デジタルカタパルト
仕様	A4 変型、24 頁
発行日	2018 年 10 月 24 日

▼2018 年版掲載図書（81 冊）

◎絵本	
『あおのじかん』岩波書店	『あさがくるまえに』岩波書店
『おばあちゃんとバスにのって』鈴木出版	『ごちそうの木』西村書店
『サイモンは、ねこである。』あすなる書房	『すききらい、とんでいけ! もぐもぐマシーン』西村書店
『ちっちゃいさん』講談社	『ドライバーマイルズ』BL出版
『なかないで、アーサー』徳間書店	『なずずこのっぺ?』フレーベル館

『人形の家にすんでいたネズミ一家のおはなし』徳間書店	『ねむたいひとたち』あすなる書房
『ふたりはバレリーナ』ほるぷ出版	『へんてこたまご』フレーベル館
『ぼちっとあかいおともだち』少年写真新聞社	『まめまめくん』あすなる書房
『ゆめみるじかんよ こどもたち』BL出版	『りゅうおうさまのたからもの』福音館書店
『エンリケタ、えほんをつくる』ほるぷ出版	『おなじそらのしたで』ひさかたチャイルド
『この本をかくして』岩崎書店	『どれがいちばんすき?』岩波書店
『もしきみが月だったら』光村教育図書	『森のおくから』ゴブリン書房
『金剛山のトラ』福音館書店	『詩ってなあに?』BL出版
『ソーニャのめんどり』くもん出版	『ふしぎな銀の木』福音館書店
『本の子』ポプラ社	『うみべのまちで』BL出版
『アームストロング』ブロンズ新社	『空の王さま』BL出版
◎読みもの	
『ありづかのフェルダ』福音館書店	『テオのふしぎなクリスマス』ゴブリン書房
『わたしも水着を着てみたい』さ・え・ら書房	『アルバートさんと赤ちゃんアザラシ』徳間書店
『カランポーのオオカミ王』岩波書店	『口ひげが世界をすくう?!』岩波書店
『こいぬとこねこのおかしな話』岩波書店	『月からきたトウヤーヤ』岩波書店
『とびきりすてきなクリスマス』岩波書店	『ぼくとベルさん』PHP 研究所
『モルモット・オルガの物語』PHP 研究所	『ナンタケットの夜鳥』富山房
『もうひとつのワンダー』ほるぷ出版	『オオカミを森へ』小峰書店
『ジョージと秘密のメリッサ』偕成社	『テディが宝石を見つけるまで』あすなる書房
『ぼくたち負け組クラブ』講談社	『レイン』小峰書店
『凍てつく海のむこうに』岩波書店	『紅のトキの空』評論社
『さよなら、スパイダーマン』偕成社	『世界を7で数えたら』小学館
『ダーウィンと旅して』ほるぷ出版	『太陽と月の大地』福音館書店
『パンツ・プロジェクト』あすなる書房	『ペーパーボーイ』岩波書店
『ぼくはO・C・ダニエル』鈴木出版	『ボノボとともに』福音館書店
『わたしがいどんだ戦い 1939年』評論社	
◎ノンフィクション	
『いろいろいっぱい』ゴブリン書房	『ゴードン・パークス』光村教育図書
『すごいね! みんなの通学路』西村書店	『プーさんとであった日』評論社
『マララのマほうのえんぴつ』ポプラ社	『ラマダンのお月さま』解放出版社
『わたしたちのたねまき』のら書店	『サリバン先生とヘレン』光村教育図書
『サルってさいこう!』偕成社	『走れ!! 機関車』偕成社

『発明家になった女の子マッティ』光村教育図書	『しくみがまるわかり！骨のビジュアル図鑑』岩崎書店
『みどりの町をつくろう』福音館書店	『耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ』光村教育図書
『もしも地球がひとつのリンゴだったら』小峰書店	『庭のマロニエ』評論社
『いのちは贈りもの』岩崎書店	『語られなかったアメリカ史①②』あすなる書房
『正義の声は消えない』汐文社	『ファニー』岩波書店

イ) 「Japanese Children's Books 2019」(海外向け英文ブックリスト)

選書・執筆委員会を立上げ、絵本・読みもの・ノンフィクションのカテゴリーで81冊を選出し、英文ブックリストを作成した。特集記事は、角野栄子氏を国際アンデルセン賞に推薦した資料からの抜粋。

選書・執筆委員	さくまゆみこ、代田知子、土居安子、野上暁、広松由希子 各氏
英語翻訳	宇田川エイヴリ、竹森ジニー、平野キャシー 各氏
表紙	スズキコージ氏
協力	日本児童教育振興財団、デジタルカタパルト株式会社、ポプラ社
仕様	A4変型、32頁
発行日	2019年

▼2019年版掲載図書(81冊)

◎絵本	
『ぎゅぎゅぎゅー』KADOKAWA	『かえるぴょん』講談社
『どしゃぶり』講談社	『やもじろうとはりきち』佼成出版社
『まっくらやみのまっくら』小学館	『アンナとビイブ』講談社
『おばあちゃんとおんなじ』偕成社	『きみちゃんとふしぎねこ』ひさかたチャイルド
『黄金りゅうと天女』BL出版	『じょやのかね』福音館書店
『ぞろりぞろりとやさいがね』偕成社	『トコトコバス』講談社
『ルラルさんのだいくしごと』ポプラ社	『かんけり』アリス館
『夏がきた』あすなる書房	『巨人の花よめ』BL出版
『クマと少年』ブロンズ新社	『せいかいかえるかいぎ』ポプラ社
『バッタロボットのぼうけん』ポプラ社	『やまのかいしゃ』福音館書店
『わたしの森に』くもん出版	『イオマンテ』ロクリン社
『大名行列』小学館	『太陽といっしょ』クレヨンハウス
『ハテナちゃんとふしぎのもり』素朴社	『ぼんやきゅう』ポプラ社
『みえるとかみえないとか』アリス館	『手ぶくろを買いに』あすなる書房
『ざしき童子のはなし』ミキ商行	

◎読みもの	
『あんみんガッパのパジャマやさん』小学館	『たぬきのたまご』銀の鈴社
『ともだちのときちゃん』フレーベル館	『ふたりはとっても本がすき!』小峰書店
『四人のヤッコ』鈴木出版	『わたしといろんなねこ』あかね書房
『絵物語古事記』偕成社	『シンデレラのねずみ』偕成社
『4 ミリ同盟』福音館書店	『手塚治虫からの伝言 命』童心社
『青がやってきた』偕成社	『一〇五度』あすなる書房
『いいたいことがあります!』偕成社	『よりみち3人修学旅行』講談社
『ある晴れた夏の朝』偕成社	『キズナキス』静山社
『こんぴら狗』くもん出版	『その景色をさがして』PHP出版
『地図を広げて』偕成社	『ドリーム・プロジェクト』PHP研究所
『理科準備室のヴィーナス』講談社	『わたしが少女型ロボットだったころ』偕成社
『キジムナーKids』現代書館	
◎ノンフィクション	
『にゅうどうぐも』福音館書店	『もりのほうせき ねんきん』ポプラ社
『きのこレストラン』ポプラ社	『ごはんはおいしい』福音館書店
『巣箱の中で』あかね書房	『のやまのむしたち』岩崎書店
『まなぶ』アリス館	『もぐらはすごい』アリス館
『すごいぞ! ニッポン美術』西村書店	『虫のしわざ探偵団』少年写真新聞社
『もらってうれしい手紙を手づくりしよう!』偕成社	『昆虫の体重測定』福音館書店
『「牛が消えた村」で種をまく』農山漁村文化協会	『こちらムシムシ新聞社』偕成社
『円谷英二』あかね書房	『ハチごはん』ほるぷ出版
『岡本太郎』あかね書房	『髪がつなぐ物語』文研出版
『コーヒー豆をおいかけて』くもん出版	『動物行動学』少年写真新聞社
『鳥獣戯画を読みとく』岩崎書店	『デニムさん』佼成出版社
『和紙と文具』理論社	『フェルムはまほうつかい』小学館
『文様えほん』あすなる書房	『しあわせの牛乳』ポプラ社
『世界を救うパンの缶詰』ほるぷ出版	『ようこそ、難民!』合同出版
『核兵器はなくせる』岩波書店	

ウ) 「おすすめ! 日本の子どもの本 2019」

英文リストを日本語でも読みたいという声に応え、日本語版を作成した。

選書・執筆、表紙	英語版に同じ
編集協力	澤田精一氏

協力	日本児童教育振興財団、デジタルカタパルト株式会社、ポプラ社
仕様	A4 変型、24 頁
発行日	2019 年 3 月 23 日

3. 講座・研究会

ア) JBBY 新・編集者講座第 4 期 (全 6 回)

児童書編集者にとっての学びの場、子どもの本の未来を創る次世代の交流の場を目指し、新・編集者講座第 4 期を実施した。本年は初夏に特別編、秋に本編を全 6 回行った。参加者のべ 293 人。

▼特別編 会場協力：小学館（東京都）

6/27 (水)	土居安子氏「国際アンデルセン賞の審査からみえてきたこと」
7/11 (水)	宇野和美・原田勝・若松宣子・さくまゆみこ各氏 「おもしろい本を探せ！ 英語圏、ドイツ、スペイン語圏の子どもの本から」

▼本編テーマ「いまをつき抜ける編集力を！」 会場協力：共同印刷（東京都）

9/26 (水)	代田知子氏「戦う公共図書館、本を読む子を育てる現場の今」
10/24 (水)	広松由希子氏「世界の動きに学ぶ、絵本の今とこれから」
11/7 (水)	松田素子氏「フリー編集者として、長年こどもの本を編集してきた経験談から学ぶ」
11/29 (木)	若月眞知子氏「ブロンズ新社の絵本作りと海外出版の可能性」

イ) JBBY 国際アンデルセン賞講座 (全 5 回)

国際アンデルセン賞受賞者にまつわる講座を全 5 回実施した。会場はいずれもブックハウスカフェ神保町（東京都）。参加者のべ 224 人。「子どもゆめ基金」助成活動。

▼テーマ：歴代受賞の作家画家とその作品から

12/13 (木)	赤羽茂乃氏「赤羽末吉の人と作品」
2019/1/25 (金)	松田素子氏「まど・みちおの人と作品」
2/7 (木)	さくまゆみこ氏「海外の作家賞受賞者とその作品から」
2/14 (木)	福本友美子氏「海外の画家賞受賞者とその作品から」
3/7 (木)	澤田精一氏「安野光雅の人と作品」

ウ) JBBY 子どもの本の翻訳フォーラム (1 回)

日本の作家による創作と並んで、子どもたちには、異なる視点から描かれた海外の本も必要だという考えから翻訳児童書に関するフォーラムを開催した。参加者 143 名。「子どもゆめ基金」助成活動。

第 1 回テーマ「日⇄英 物語の翻訳を考える」

日時：2019 年 3 月 9 日（土）

場所：東京ウィメンズプラザ（東京都）

登壇者：宇田川エイヴリ、原田勝、前沢明枝、さくまゆみこ 各氏

エ) JBBY○△×を考える会

会員主体で行う勉強会、テーマを決めて気軽に集まり意見交換ができる仕組みを提案。2018年度は、「ノンフィクションの子どもの本を考える会」が発足した。

(1) JBBY ノンフィクションの子どもの本を考える会（全4回）

9/11（火）	テーマ：著者との出会いから本ができるまで、そして。 テーマ本『ぼくの見た戦争—2003年イラク』（ポプラ社） 講師：小原解子氏 会場：ポプラ社
11/8（木）	テーマ：ドンダの本を比べ読みする 会場：偕成社
2019/1/23（水）	テーマ：絵で語るミツバチの絵本を比べ読みする テーマ本『ミツバチのはなし』（徳間書店） 会場：ポプラ社
3/20（水）	テーマ：子どものためのノンフィクションを書くとは？ テーマ本『ギブ・ミー・ア・チャンス』（講談社） 講師：大塚敦子氏 会場：ポプラ社

4. 会報の発行

会報「Book & Bread」を4回発行した。

135号	表紙：こしだミカ氏 インタビュー：長谷川義史氏 巻末エッセイ：伏見操氏
136号	表紙：田島征三氏 インタビュー：ピーター・フランクル氏 巻末エッセイ：山本悦子氏
137号	表紙：垂石眞子氏 特別企画：角野栄子さん国際アンデルセン賞受賞
138号	表紙：国際子どもの本の日ポスター（ケストウティス・カスパーヴィチユス氏） インタビュー：曹文軒氏 巻末エッセイ：吉野万理子氏
仕様	B5版、36頁 印刷：図書印刷株式会社
広告協力	岩波書店、偕成社、共同印刷、くもん出版、講談社、至光社、出版文化産業振興財団、 小学館、大日本印刷、東京印書館、図書印刷、凸版印刷、童心社
編集委員	田中秀治（編集長）、赤石忍、喜入今日子、那須奈美子、松井紀美子、松岡由紀 各氏

5. ウェブサイト

ホームページのリニューアルに取り組んだ。Facebook、Twitter、メールマガジンを通して情報を提供した。

ホームページ <http://www.jbby.org/>

Facebook <https://www.facebook.com/JBBYpi/>

Twitter <https://twitter.com/jbbypi>

6. JBBY 賞

第 6 回 JBBY 賞贈賞式を、子どもの本の日フェスティバル会場にて行った。（隔年事業）

日時：2019 年 3 月 23 日（土）

場所：ゲートシティホール（東京都）

▼受賞者と受賞理由

角野栄子氏	2018 年国際アンデルセン賞作家賞への推薦
田島征三氏	2018 年国際アンデルセン賞画家賞への推薦
古内一絵氏	2018 年 IBBY オナーリスト文学作品への推薦『フラダン』
スズキコージ氏	2018 年 IBBY オナーリストイラストレーション作品への推薦『ドームがたり』
母袋夏生氏	2018 年 IBBY オナーリスト翻訳作品への推薦『お静かに、父が昼寝しております』
てのひらの会	2017 年 IBBY バリアフリー児童図書への推薦『モグモグぱっくん』
荒井真紀氏	2017 年ブラティスラヴァ世界絵本原画展「金のりんご」『たんぼぼ』
ミロコマチコ氏	2017 年ブラティスラヴァ世界絵本原画展「金牌」『けもののおいがしてきたぞ』
小峰書店	IBBY オナーリスト『フラダン』の出版に対して
玉川大学出版部	IBBY オナーリスト『ドームがたり』の出版に対して
岩波書店	IBBY オナーリスト『お静かに、父が昼寝しております』の出版に対して
金の星社	BIB 金のりんご『たんぼぼ』の出版に対して
岩崎書店	BIB 金牌『けもののおいがしてきたぞ』の出版に対して

■JBBY 賞

JBBY が国内選考会を行って、子どもの本の国際的な賞（国際アンデルセン賞、IBBY オナーリスト、IBBY 障害児図書、BIB 世界絵本原画展、リンドグレーン記念文学賞など）に推薦した日本の作品、人、出版社に贈られる。日本の代表として海外に発信された子どもの本を国内でも周知するため 2009 年に設けた。

7. 協力事業（他団体との連携・協力）

ア) 子どもの読書推進会議

民間の読書関連団体が結成した「子どもの読書推進会議」構成団体として協力した。

構成団体（順不同）：読書推進運動協議会、全国学校図書館協議会、日本雑誌協会、日本書店商業組合連合会、出版文化産業振興財団（JPIC）、日本児童出版美術家連盟（童美連）、国際子ども図書館を考える全国連絡会、日本図書館協会、日本書籍出版協会、日本出版取次協会、日本児童図書出版協会、日本児童文芸家協会、日本児童文学者協会、JBBY

イ) プラティスラヴァ世界絵本原画展（国内巡回展）

読売新聞社美術館連絡協議会と各開催館が主催する巡回展「プラティスラヴァ世界絵本原画展—BIB で出会う絵本のいま」に協力した。（2019 年度へ継続）

2018/7/21～9/9	福岡県	久留米市美術館
10/6～12/2	奈良県	奈良県立美術館
2019/1/20～3/3	千葉県	千葉市美術館
3/23～5/12	栃木県	小杉放菴記念日光美術館
7/13～8/28	埼玉県	うらわ美術館

ウ) 山田養蜂場「ミチバチの絵本コンクール」

第 2 回ミツバチの絵本コンクールに、審査員として協力した。

審査員：赤石忍、喜入今日子、那須奈美子 各氏

エ) 文部科学省「読書コミュニティ拠点形成支援事業」

全国の自治体に委託して、学校・図書館・読書ボランティア団体等によるネットワークの構築を促す事業に協力した。

オ) 群馬県太田市美術館・図書館（群馬県）

運営委員（アドバイザー）として協力した。

カ) 後援名義の提供

他団体が主催する子どもの本関連事業を後援した。（実施順）

東京都	没後 50 年ちいさいおうちのばーじにあ・りー・ばーとん展	教文館ウェンライトホール
全国	第 35 回アンデルセンのメルヘン大賞	アンデルセン・パン生活文化研究所
東京都	チャベック兄弟と子どもの世界展	松涛美術館
東京都	いわさきちひろ生誕 100 年「Life 展」	ちひろ美術館・東京
国際	第 6 回ミツバチの一枚画コンクール	山田養蜂場
東京都	上野の森親子ブックフェスタ 2018	子どもの読書推進会議ほか
全国	第 35 回日産 童話と絵本のグランプリ	日産・大阪国際児童文学振興財団
神奈川県	没後 10 年 石井桃子展	神奈川近代文学館
富山県	とやま元気ワールド 絵本ランド 2018	富山新聞社ほか
全国	第 2 回ミツバチの絵本コンクール	山田養蜂場
石川県	絵本ワールド・イン・いしかわ 2018	北國新聞社ほか
北海道	第 28 回けんぶち絵本の里大賞・けんぶち絵本原画展	剣淵町絵本の館
東京都	第 26 回ポローニャ・ブックフェア in いたばし	板橋区ほか

全国	JPIC 読書アドバイザー養成講座	JPIC
愛媛県	国際児童文学館蔵絵本原画展（梶山俊夫、茂田井武）	今治市大三島美術館
全国	第 25 回いたばし国際絵本翻訳大賞	板橋区ほか
全国	絵本・児童図書の「読み聞かせ」キャンペーン	キッズエクスプレス 21
東京都	世界と日本の子どもの本から 6「子どもの本の翻訳～フランスの子どもたちに届いた『あん』」	日本ペンクラブ・子どもの本委員会
長野県	シンデレラ&プリンセス絵本展	軽井沢絵本の森美術館
静岡県	ユニバーサルデザイン絵本コンクール 2018	静岡文化芸術大学
東京都	全国図書館大会	日本図書館協会
東京都	ちひろ子どもスタイルーいわさきちひろの絵から飛び出したキッズ・ファッション	ちひろ美術館・東京
愛知県	グラフィックデザイナー土方重巳の世界展	刈谷市美術館
長野県	第 3 回全国絵本ミュージアム会議	全国絵本ミュージアム会議実行委員会
新潟県	絵本ワールド in にいがた 2018	新潟日報社ほか
長野県	絵本に暮らす動物たち	軽井沢絵本の森美術館
三重県	子どもたちの未来、子どもの本の未来	日本ペンクラブ・子どもの本委員会

【その他の事業】

1. イタリア・ボローニャ国際絵本原画展

イタリアのボローニャ・ブックフェアで開催される「イラストレーター展」入選作品を紹介する「2018 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」日本巡回展の事務局を務めた。5 会場で実施した。

7/6～29	東京都	成増アートギャラリー（板橋区立美術館改修中）
8/11～9/24	兵庫県	西宮市大谷記念美術館
9/29～10/28	三重県	四日市市立博物館
11/3～12/9	石川県	石川県七尾美術館
12/15～2019/1/20	鹿児島県	長島美術館

2. JBBY 希望プロジェクト

IBBY のチルドレン・イン・クライシスの精神に則り、日本国内の困難な状況にある子どもたちに本を通じた支援活動を行った。

ア) 支援活動

(1) 野馬追文庫

放射能被害の不安が続く福島県南相馬市の施設等へ毎月 11 日に本を送った。「子どもたちへくあしたの本>プロジェクト」からの継承事業。 協力：ジネット

▼送った本

4月	『きんのたまごのほん』（童話館）『たまごのはなし』（ほるぷ出版）『魔女の宅急便』（福音館書店）
5月	紙芝居『くわす女房』（童心社）『くわすによぼう』『いちご』『おかえし』（福音館書店）
6月	紙芝居『6がつ6ちゃんはっはっは』（童心社）『だるまちゃんとかみなりちゃん』（福音館書店）『からすのパンやさん』（偕成社）『じめんがふるえる だいちがゆれる』（農山漁村文化協会）
7月	『パンのかけらとちいさなあくま』（福音館書店）『仙人のおしえ』（くもん出版）
8月	『めつきらもつきらどおんどん』『うさこちゃんおばけになる』『ねないこだれだ』（福音館書店）『お化けの真夏日』（BL出版）
9月	『おつきさまこんばんは』（福音館書店）『チトくんとにぎやかないちば』（徳間書店）『ぼくと2まい葉』（ポエムピース）
10月	『絵巻じたて ひろがるえほん かわ』『三びきのこぶた』（福音館書店）『おめんです2』（偕成社）『雲のてらん会』（講談社）『きぼう ころろひらくとき』（ほるぷ出版）
11月	『どっとこどうぶつえん』『ピリカ、おかあさんへの旅』（福音館書店）『としょかんねずみ2』（瑞雲舎）『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』（BL出版）『ざぼんじいさんのかきのき』（岩崎書店）
12月	『コロちゃんのクリスマス』（評論社）『かさじぞう』（福音館書店）
1月	『はつてんじん』『しっかりはしれば——亥』（クレヨンハウス）『十二支のお節料理』（BL出版）
2月	『てぶくろ』『てじな』『しんせつなともだち』（福音館書店）
3月	『バルボンさんのおしごと』（アリス館）『ペロペロペロ』（BL出版）『チューリップ』（小学館）『ねえねえねえ わらってる?』（福音館書店）

(2) その他の支援活動

おむすび食堂（千葉県）	リクエストに応じた「食」に関する子どもの本 22 冊を寄贈
要町あさやけ子ども食堂（東京都）	ライブラリーコーナー立上げに伴い、古典作品を中心に選書した子どもの本 56 冊を寄贈
ワーカーズコープ（東京都）	外国籍の子ども利用も多いので、「食」と「外国」に関する子どもの本 24 冊を寄贈

イ) 募金活動

支援活動に限定した用途特定寄付金を募った。2018 年度は 594,740 円の寄付が集まった。収支残金は、積立金として次年度に繰り越した。

募金口座：ゆうちょ銀行 〇一八（ゼロイチハチ）支店（普通）2477506

口座名義：ニホンコクサイジドウトショヒョウギカイ

ウ) 学びの会 (全4回)

支援を有意義なものにするため、子どもたちが直面している困難の実情を学ぶ学習会を4回実施した。参加者のべ195人。「子どもゆめ基金」助成活動。

5/26 (土)	ワリー・デ・ドンケル氏「IBBYのチルドレン・イン・クライシスとブックセラピー」 通訳：早川敦子氏 会場：日本出版クラブ会館 (東京都)
6/16 (土)	上間陽子氏「沖縄の夜の街の少女たち」会場：NUTULUCK 飯田橋 (東京都)
9/15 (土)	田中宝紀氏「海外にルーツを持つ子どもの現状と課題」会場：ルーテル市ヶ谷センター (東京都)
2019/2/2 (土)	日置将之氏「少年院・少年鑑別所における読書に関する取組みについて」会場：ルーテル市ヶ谷センター (東京都)

■JBBY 希望プロジェクト

東日本大震災後、子どもの本に関わるいくつかの団体とともに立ち上げた「子どもたちへ〈あしたの本〉プロジェクト; 2011-2016」で培った経験や反省をいかし、日本国内のさまざまな困難を抱える子どもたちに目をむけ、本の力で希望ある未来を届けようと、JBBYが2017年に発足。

3. フォーラム・子どもたちの未来のために

学習会を4回実施した。

7/19 (木)	松本猛氏「ちひろが描いた戦争と平和」会場：文京シビックセンター (東京都)
11/28 (水)	望月衣塑子氏「いま、この国のメディアを考える①」会場：専修大学 (東京都)
12/5 (水)	金平茂紀氏「いま、この国のメディアを考える②」会場：専修大学 (東京都)
2019/3/27 (水)	山田健太氏「沖縄ジャーナリズムから考える基地問題と日米地位協定」会場：専修大学 (東京都)

■フォーラム・子どもたちの未来のために

「特定秘密保護法」や一連の「安保法案」が、子どもたちの未来を危うくするものと受け止め、子ども本に携わる出版社、作家、画家、翻訳家、研究者など各方面の団体が危機感を共有して2013年に結成した連絡組織。会員への強制力はなく、勉強会を実施することで問題意識の拡大を図る。

構成団体：絵本学会、絵本作家・画家の会、童話著作権者の会、日本児童図書出版協会、日本児童文学者協会、日本ペンクラブ「子どもの本」委員会、JBBY。

<https://www.f-kodomotachinomirai.com/>

4. 出展ほか

ア) 上野の森親子ブックフェスタ

会期：2018年5月3日～5日

主催：子どもの読書推進会議、日本児童図書出版協会、JPIC

「JBBY 翻訳者・翻訳書ブース」を出展し、JBBY 理事並びに IBBY オナーリスト翻訳者が販売、サインに応じた。

出展日	2018年5月3日
参加翻訳者	宇野和美、こだまともこ、斎藤倫子、さくまゆみこ、那須田淳、野坂悦子、原田勝、広松由希子、前沢明枝、母袋夏生 各氏

5. 物販

展覧会や講演会等開催時に、カタログ、講師の著作物、関連書籍等を販売した。

【組織・その他】

1. 総会・理事会等の開催

4/26	第1回理事会	出席11名 2017年度決算について、2018年度事業について ほか
5/29	第2回理事会	出席11名 総会について、国際アンデルセン賞国内選考について、角野栄子氏受賞記念イベントについて、後期助成金申請について ほか
6/15	第3回理事会	出席17名 2017年度決算・事業報告について、事務局移転について ほか
6/15	第48回定時総会	2017年度事業報告と決算報告 2018年度事業計画と予算案
10/18	事務局移転	
11/6	第4回理事会	出席12名 2019年度助成金の申請について、JBBY賞贈賞式について ほか
12/13	第5回理事会	出席12名 BIB国内選考について、サイレントブックス推薦について、子どもの本の日フェスティバルについて、事務局人事について ほか
2019/2/5	第6回理事会	出席10名 定款と内規の見直しについて、国際子どもの本の日について ほか
4/17 ※	第7回理事会	出席11名 2019年度予算について、定款の修正について、役員改選について ほか

2. 役員

会長	さくまゆみこ（翻訳家）
副会長	赤石 忍（くもん出版取締役）
副会長	野上 暁（日本ペンクラブ常務理事）
業務執行理事	新井征明（会社員）
理事	宇野和美（翻訳者）
理事	角野栄子（作家）
理事	喜入今日子（小学館第二児童学習局児童文芸室長）
理事	小林 豊（画家）
理事	代田知子（三芳町立図書館長）
理事	垂石真子（画家）
理事	那須奈美子（講談社第六事業局長）
理事	那須田 淳（作家）
理事	濱野京子（作家）
理事	広松由希子（絵本の評論、文、翻訳、展示企画）
理事	前沢明枝（翻訳家、早稲田大学・川村学園女子大学講師）
理事	松岡希代子（板橋区立美術館副館長）
理事	依田和子（よこはまライブラリーフレンド代表）
理事	鳥塚尚子（JBBY 事務局長）
監事	阿部 薫（日本出版クラブ専務理事）
監事	柏原順太（小学館第二児童学習局チーフプロデューサー）
監事	村山隆雄（聖徳大学教授）